

I 外国語(英語) 正答表並びに採点上の注意 (平成29年度)

問1

(ア)			
No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
1	3	2	4

(イ)		
No. 1	No. 2	No. 3
4	2	3

(ウ)

I can get it if I answer some questions about the food.

(ウ)は正答例。

問2

(ア)	(イ)	(ウ)
bought	would	thirsty

問3

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
4	1	3	2

問4

(ア)				(イ)			
3番目	3	5番目	1	3番目	3	5番目	2

両方できて3点。

(ウ)				(エ)			
3番目	4	5番目	3	3番目	6	5番目	4

両方できて3点。

問5

How many times have you been to Kamakura ?

問5は正答例。

問6

Do you know what time it starts ?

問6は正答例。

問7

(ア)	(イ)	(ウ)
1	2	3 5

(ウ)は両方できて5点 (順不同可)。

問8

(ア)	(イ)	(ウ)
4	3	2

問9

(ア)	(イ)	(ウ)
1	4	3 6

(ウ)は両方できて5点 (順不同可)。

問	配点
1	(ア), (イ) 各2点 (ウ) 5点 計19点
2	各2点 計6点
3	各2点 計8点
4	各3点 計12点
5	5点
6	5点
7	各5点 計15点
8	各5点 計15点
9	各5点 計15点
計	100点

採点上の注意

【問題全般について】

- 中間点は、問1(ウ)、問5及び問6以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。

【中間点のない記述問題について】

問2について

- 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、文脈に即した英語ならば、正答として2点を与える。

【中間点のある記述問題について】

- 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、文脈に即した英語ならば、正答として5点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。

[誤答とする場合]

- 文法・語法上の誤りがあるために、英文として成り立っておらず、文全体の内容理解に明らかに支障がある場合。(必要な主語や動詞がない等の文構造上の誤り、語順の誤り等)
- 英文として成り立っているが、文脈に適さない場合。
- 語数の条件を満たしていない場合。
- 指定語(句)を使用していない場合。
- 2文以上で書かれている場合。

[減点とする場合]

- 文全体の内容理解に支障がないと判断できるが、文法・語法上の誤り(冠詞に係る誤り等)、指定語(句)を含めた綴り字の誤りや大文字・小文字の誤り、符号(, / . / ? / ! 等)に係る誤り(符号の不適切な使用や脱落)がある場合については、その数にかかわらず2点減点とする。したがって、中間点は3点となる。

問1(ウ)について

得点項目A 調理室で「ケーキがもらえる方法」について触れていること。

問5について

指定語は been である。

得点項目A ユウスケがトムに鎌倉を訪れた回数を尋ねていると読みとれること。

※なお、短縮形が使われている場合については、上記の[減点とする場合]の扱いに含めるものとする。

(正答例) How often have you been to Kamakura?

問6について

指定語は what である。

得点項目A Shota が Shota's sister に花火大会の始まる時間に関して尋ねていると読みとれること。